

大規模都市整備事業の完了した地域における生活環境の住民意識調査

岩手大学 学生員 ○篠崎有花  
 岩手大学 正会員 谷本真佑  
 岩手大学 学生員 佐藤史弥  
 岩手大学 正会員 南 正昭

1 はじめに

盛岡市の盛南地区では、北東北の交流拠点実現のため、平成6年から盛岡南新都市土地区画整理事業(盛南開発)による都市整備が進められ、19年半の事業期間を経て平成25年に事業が完了した。事業の進展に伴い、当該地区では生活環境が大きな変貌を遂げた。

本研究では、盛南地区の住民に対して生活環境に関する意識調査を実施し、生活環境評価や地域への愛着、地域の人への信頼等が盛南地区全体への総合満足度を与える影響について分析した。得られた結果について、当該地区の今後のまちづくりの基礎資料とすることを目的とする。



図1 調査対象地域（盛南地区）

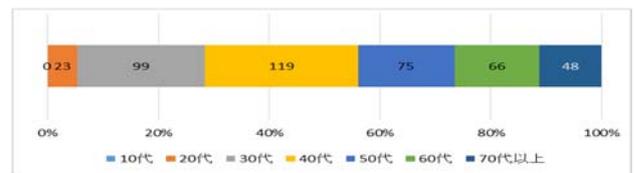


図2 回答者属性(n=430)

2 調査方法

2.1 調査対象地域

本研究の対象地域となる盛岡南新都市は、盛岡市の中心市街地南部に位置する本宮地区、向中野地区、北飯岡地区、西仙北地区で構成される。盛南開発により、同地区には道路、橋、商業施設、住宅地、公園、文化施設などが整備された。人口は盛岡市全体としては減少傾向にあるが、盛南地区では増加傾向にある。平成27年度国勢調査によると盛南地区の住民は約13,000人、およそ5,600世帯が居住している。

2.2 アンケート調査概要

本研究では、盛南地区の生活環境に関する25項目についての評価とその総合満足度、地域に対する住民意識等を尋ねるアンケート調査を盛南地区全域に対して行った。当該地域の中から無作為に抽出された4,000世帯に対し、平成31年1月にポスティングによるアンケート票の配布を行った。配布したアンケート票は、同封の返信用封筒による郵送回収を行った。本稿では、そのうち430部の有効回答による結果を示す。回答者

属性は図2の通りである。

2.3 分析方法

本研究では、生活環境評価と総合満足度の関連性について分析を行った。さらに地域への愛着を感じるか、地域の人を信頼できるかという2項目に対する住民意識が生活環境評価と総合満足度を与える影響についても分析を行った。

調査項目については「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」の5段階で解答していただき、単純集計を行った。また、「満足」「やや満足」の2項目を肯定側回答、その他3項目を否定側回答として集約し、ロジスティック回帰分析を行った。

3 分析結果・考察

3.1 アンケート回答傾向

25項目の生活環境評価と総合満足度の単純集計結果を図3に示す。この結果から、9項目で「満足・やや満足」が過半数を占め、総合満足度でも過半数を超

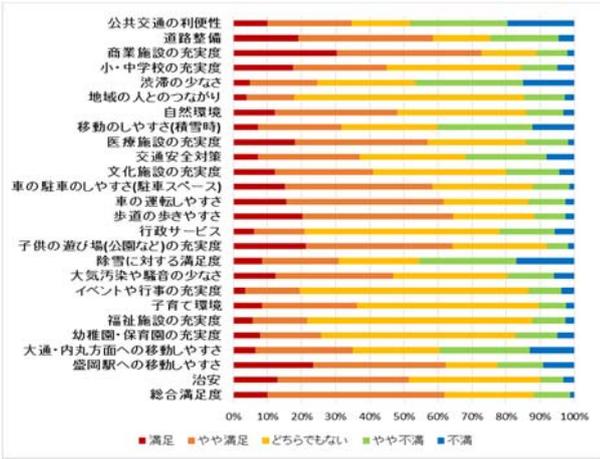


図3 盛南地区生活環境評価の単純集計結果

えている事から、全体的に地域に対する住民の満足度は高いと考えられる。特に、商業施設、子供の遊び場歩道の歩きやすさの項目では「満足」の回答が高い割合を占めており、かつ、「不満」の回答が極端に少ない。一方で、公共交通、渋滞の少なさ、除雪に対する満足度の項目では「不満・やや不満」の回答のみで半数近くを占める結果が示された。

### 3.2 生活環境評価と総合満足度の関連性

表1は、総合的な満足度を従属変数に、各生活環境項目を独立変数としてロジスティック回帰分析を実施し得られた調整オッズ比である。本節では、全ての有効回答(n=430)を対象として得られた結果について述べる。分析の結果、公共交通、道路整備、交通安全対策、車の運転しやすさ、子育て環境、大通・内丸方面への移動、治安の項目で、95%信頼区間にて有意性が確認され、商業施設の項目では、99%信頼区間にて有意性が確認された。商業施設においては、調整オッズ比が3.00を上回り他項目に比して高く、「満足・やや満足」への回答割合が高いことから、これらの項目が盛南地区全体の満足度を高めている要因と判断できる。

### 3.3 地域への関わり方が生活環境評価に与える影響

表1の右側は、「地域への愛着を感じるか」「地域の人を信頼できるか」の2項目への回答状況で回答者を分類し、各々の回答者群を対象にロジスティック回帰分析を行った結果を示している。

これらの項目に対し、「感じる」との回答者と「感じない」との回答者の両方で有意性が示された項目は確認されず、盛南地区全体の満足度と関連する生活環境項目が異なる傾向が見てとれる。この結果は、地域との関わり方による生活環境の評価構造差であると解釈できる。

表1 生活環境評価と総合満足度評価の関連性

	全回答者 (n=430)	地域への愛着		地域の人への信頼	
		感じない (n=167)	感じる (n=263)	感じない (n=258)	感じる (n=172)
1. 公共交通の利便性	2.69	2.20	4.34	2.04	10.26
2. 道路整備	2.09	3.07	1.71	1.94	2.31
3. 商業施設の充実度	3.56	2.73	4.10	6.09	2.03
4. 小・中学校の充実度	0.70	0.88	0.71	0.93	0.36
5. 渋滞の少なさ	2.11	6.89	1.18	4.81	0.56
6. 地域の人のつながり	0.71	0.01	1.15	0.40	0.27
7. 自然環境	1.46	2.90	1.24	1.62	1.98
8. 積雪時の移動しやすさ	1.76	1.37	1.76	1.69	8.73
9. 医療施設の充実度	0.79	1.53	0.89	0.58	0.56
10. 交通安全対策	2.73	4.24	2.49	4.28	0.47
11. 文化施設の充実度	0.94	0.72	1.00	1.16	1.24
12. 車の駐車しやすさ	1.36	0.81	1.65	0.84	3.86
13. 車の運転しやすさ	2.13	2.42	2.41	1.85	3.80
14. 歩道の歩きやすさ	1.11	2.05	0.77	1.40	0.88
15. 行政サービス	1.50	0.28	12.76	1.55	2.52
16. 子供の遊び場の充実度	1.13	0.75	1.36	1.13	1.83
17. 除雪に対する満足度	1.41	0.79	3.68	0.95	3.72
18. 大気汚染・騒音	1.21	2.11	0.84	1.15	1.30
19. イベント・行事の充実	2.55	9.53	1.10	3.42	2.99
20. 子育て環境	3.12	3.68	3.57	3.60	4.77
21. 福祉施設の充実	1.14	1.00	1.28	0.84	2.54
22. 幼稚園・保育園の充実	1.04	0.99	1.46	1.10	0.38
23. 大通・内丸方面の移動	2.57	3.23	2.06	3.27	0.89
24. 盛岡駅の移動	1.72	1.56	2.47	2.36	1.60
25. 治安	2.02	1.65	2.64	3.52	0.87
(定数項)	0.03	0.01	0.02	0.01	0.04

■ 95%信頼区間にて有意性が示された値

■ 99%信頼区間にて有意性が示された値

## 4 おわりに

本研究では、大規模都市整備事業の完了した盛南地区を対象に生活環境に関する意識調査を実施し、地区全体の満足度と生活環境への満足度との関連性について定量的に分析を行うとともに、地域との関わり方により関連性のみられる項目に差がみられることを明らかにした。

今後の課題として、過去に同地区で実施された調査との比較考察および個人属性を考慮した分析が挙げられる。

## 参考文献

- 1) 高橋瑛子, 谷本真佑, 佐藤史弥, 南正昭: 歴史的街並みを活かしたまちづくりに関する住民意識調査～大慈寺地区を対象として～, 平成29年度土木学会東北支部技術研究会講演概要集, CD-ROM, 2018.
- 2) 吉田尚弘, 平井寛, 南正昭: 盛岡南新都市を事例とした都市計画の制度改正によるまちづくりへの影響に関する研究, 平成24年度土木学会東北支部技術研究会講演概要集, CD-ROM, 2013.
- 3) 谷本真佑, 南正昭, 赤谷隆一: 住民の生活環境評価からみた地方都市の開発と抑制, 土木計画学研究・講演集, No.37, CD-ROM, 2008.